

広報しようわ

3

Mar. 2022
No.633

雪空に希望の花火

【今月の表紙】2月11日から13日まで、3夜連続でウインターフェスティバル2022の花火が夜空に上がりました。

(13日に大河南地区で撮影、14ページに関連記事)

CONTENTS

- 03 **お知らせ1**
マイナンバーカードを
まだお持ちでない方へ ほか
- 04 **クローズアップ1**
公共交通を身近にそして便利に
- 07 **ふるさと昭和～歴史を訪ねて～**
地域包括支援センターだより
- 08 **クローズアップ2**
自然環境を守る活動をしています
- 09 **お知らせ2**
原油価格高騰対策給付金を
支給します ほか
- 10 **くらしの情報**
- 12 **クローズアップ3**
学校の将来を考える
- 14 **ニュース・トピックス**
- 16 **交流ひろば**
- 18 **すこやかちゃん／ちっちなこてん** ほか

◎今月の納税／納期をお忘れなく

- 国民健康保険税…………… 9 期分
- 水道料金・下水道使用料…………… 6 期分
- 保育料…………… 3 月分
- 学校給食費…………… 3 月分

<納期限> 3月31日(木)

※口座振替をご利用の方は預貯金残高の確認をお願いします。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方には
 猶予制度があります。

♻️4月のごみ収集

当日の朝8時30分までに各ステーションへ

- 燃やせるごみ……………毎週月・金曜日
- 燃やせないごみ・硬質プラスチック
東地区19日(火)／南地区21日(木)
- 粗大ゴミ・小型家電……………24日(日)
※午前8時30分～11時30分に村資源物保管場まで

昭和村 公式

ホームページ

広報しょうわ

くらしに関わることや、イベント・観光、村の施策に関する情報を提供しています。広報しょうわ電子版もご覧いただけます。



ホームページ

昭和村 公式 SNS

Facebook・Instagram・Youtube

村は、公式 SNS により身近な話題や観光など、魅力的な情報をタイムリーに発信しています。
 ※通信料は利用者の負担となります。



facebook



Instagram



Youtube

< 広報紙アプリ配信 >



スマートフォンやタブレット端末へ、広報しょうわを配信します。
 ※通信料は利用者の負担となります。



マチイロ

< 情報メール >

昭和村集めーる

登録制メール配信システムです。村の防災情報や気象情報、村からのお知らせを随時配信しています。



昭和村集めーる

< 電話 >



昭和村テレドーム

☎0180-992-898

防災行政無線の放送内容をお聴きいただけます。
 ※通話料は利用者の負担となります。

< 防災 >

雨量観測システム

http://shouwa-staff.tenki.ne.jp
 雨量観測情報と、気象情報が確認できます。
 ※通信料は利用者の負担となります。



雨量監視システム

Yahoo! 防災速報

災害情報をリアルタイムに配信する、スマートフォンアプリです。避難場所も確認できます。
 ※通信料は利用者の負担となります。



Yahoo! 防災速報

< FM ラジオ >

FM OZE

村行政情報番組
 とれたて情報昭和村

放送日：毎週土・日曜日午前9時50分～10時
 ※緊急告知ラジオ訓練放送は、4月18日(月)正午

76.5
MHz

マイナンバーカードをまだお持ちでない方へ



▶ 問合せ 総務課住民係 ☎ 24-5111 (内線115・116)

75歳以上の方に交付申請書を再送

マイナンバーカードをまだお持ちでない、75歳以上の方を対象に後期高齢者医療広域連合からマイナンバーカードの申請に必要な書類(右の図)が順次送付されます。マイナンバーカードには次の利点があります。

- ・本人確認書類になります。
- ・マイナンバーカードに対応している医療機関で、保険証(被保険者証)として使用できます。
- ・スマートフォンやパソコン・カードリーダーなどがあれば、オンラインで確定申告ができます。

受け取りの受付時間を延長(要予約)

平日の開庁時間(8時30分から17時15分まで)内にマイナンバーカードの受け取りが困難な方のための交付窓口を延長します。開庁時間に役場に行くことが難しい方は、ぜひこの窓口をご利用ください。

時間外交付窓口は事前に電話予約が必要です

◆対象者

マイナンバーカードを申請された方で、役場から「個人番号カード交付通知書・電子証明書発行通知書 兼照会書」が届いている方が対象です。すでにマイナンバーカードをお持ちの方で、電子証明書が3カ月以内に有効期限切れとなる方も更新手続きできます。

◆延長交付受付時間 17時15分から19時まで

※予約の状況により週2日程度の開設となります。

◆開設場所 昭和村役場 総務課住民係

◆予約方法

月曜日から金曜日(祝日を除く)の8時30分から17時15分までの間に電話で予約をしてください。予約状況によりご希望に添えない場合もあります。交付通知書を紛失した方は、事前にご相談ください。

宛名台紙



交付申請書



返信用封筒

※郵送で申請する場合のみ使用



※中身は、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)からの書類です。

申請に必要な情報が記載されています(郵便で申請する場合は必要事項を記入して返信)

よくあるご質問

Q1. 申請書が届かない

A1. 交付申請書の再送付は75歳以上の日本人住民の方が対象です。これらの方以外に申請を希望する人は、役場住民係へお問合せください。

Q2. 申請は役場に行かなければいけないの?

A2. 届いた申請書を使い、スマートフォンや郵送などにより直接申請してください。

Q3. どれくらいでマイナンバーカードができるの?

A3. 申請内容に不備がなければ、申請してから1カ月ほどでお渡しできます。

Q4. 必ず申請しなければいけないの?

A3. マイナンバーカードの申請は義務ではありませんが、各種手続きでのマイナンバーの確認や本人確認で使えるほか、利便性の向上に役立ちますので、ぜひ申請をしてください。

新型コロナウイルス対策

5歳から11歳までのワクチン接種

3月からワクチンの小児接種が始まりました。接種券は、ワクチン供給量に応じて、年齢を区切り順次発送してまいります。なお、接種については強制ではありません。

5歳から7歳までの方の小児接種

マスク着用が苦手な年齢でもありますので、接種券を2月下旬に発送しました。

8歳から11歳までの方の小児接種

早めの接種を希望される方は、お問合せください。なお、1回目の接種時に11歳だった方が2回目までに12歳の誕生日を迎えた場合、2回目接種にも小児用ワクチンを使用します。

▶ 問合せ

昭和村ワクチンコールセンター ☎ 23-6050
保健福祉課健康係 ☎ 24-5111 (内線136)

- ▶ 接種が受けられる時期 令和4年3月1日～9月30日予定
- ▶ 接種するワクチン

接種するワクチン	接種回数	1回目と2回目の接種間隔
ファイザー社小児用ワクチン	2回	通常3週間

※新型コロナワクチン接種前後に他の予防接種を受ける場合は、13日以上の間隔をあける必要があります。ご注意ください。

子どもに対する新型コロナワクチンの有効性や安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 子ども

検索



公共交通を 身近に そして便利に

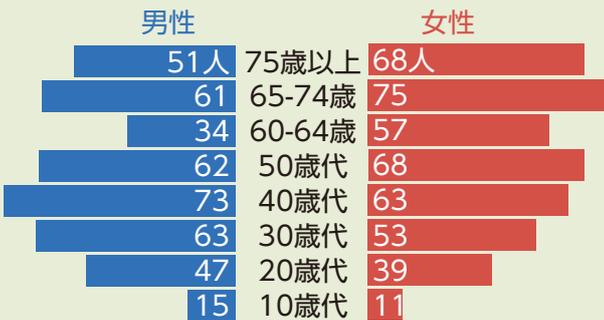
私たちに身近な公共交通である路線バスは、自動車の普及などにより利用者が減少し、取り巻く環境はますます厳しくなっています。ここでは、村民の皆さんにご協力いただいたアンケートの結果をお伝えしながら、今後の公共交通のあり方について考えます。

▼問合せ 企画課地域振興係
☎24-5111(内線141)

村内路線バス利用者数の推移



回答してくださった
あなたの年齢・性別を教えてください



村民アンケート結果

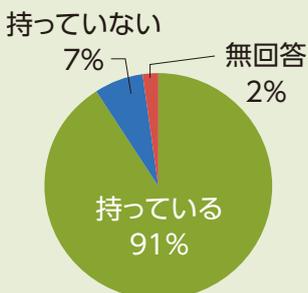
公共交通の今後は？

村にお住まいの18歳以上の方を対象に、各区・年代別に算出した1,000人を対象にアンケートを実施しました。区長さん、班長さんをはじめ、回答いただいた皆さんのご協力に感謝します。

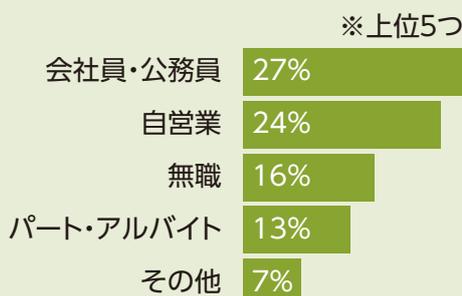
アンケートの結果は、回答率86.2% (862人) でした。各区・年代ともに片寄りなく回答いただいたものを抜粋でお知らせします。



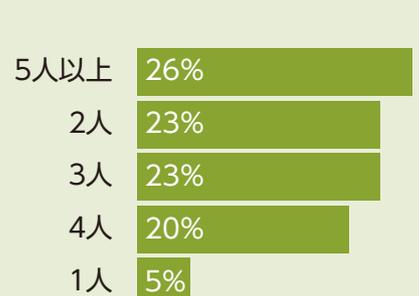
自動車運転免許証を
お持ちですか



あなたの職業は



あなたは
何人家族ですか



超高齢社会の移動手段

公共交通とは、電車やバス、タクシーや飛行機などの交通機関のことです。誰もが一定の料金を支払うことで乗ることができます。村では路線バス(関越交通株)や沼田市などからタクシーが運行されています。近年、これらの公共交通は利用者が減少し、地域の移動手段となる公共交通の維持が困難な状況になりつつあります。

現在は車を運転したり、家族の誰かが送迎してくれたり移動に不自由しないとしても、超高齢社会となった現在では、免許証の返納や家族構成の変化によって、公共交通の必要性がさらに高まることも考えられます。

村民アンケートを実施

こうした状況を踏まえ、村は今年度、今後の公共交通のあり方についてのニーズを把握するため、村民1,000人を対象に住民アンケートを実施しました。

回答いただいた方の世帯構成は、2世代以上が同居する3人以上の割合が最も高く、大多数の方が運転免許証を持ち、車を運転していることがわかりました。

普段の移動については、自分で車を運転して沼田市に買い物に行く方が突出しており、日用品雑貨を買うため「スーパー」「ドラッグストア」「ホームセンター」の順で出かけているようです。

車が中心も将来に不安

移動での路線バスの利用は極めて少なくなっています。

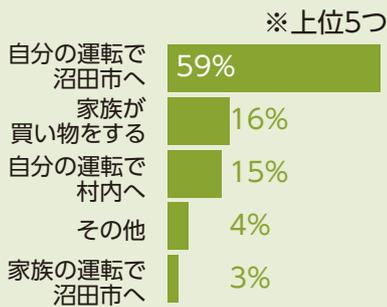
また、路線バスの運行コース以外に住んでいる人でも利用でき、事前に予約して利用する「デマンド交通」の導入については、大半が「利用しない」と回答しました。これは、自分や家族の運転を頼れる状況であることや、自家用車の方が便利とする回答が圧倒的に多く、移動は自家用車という考え方が広く浸透していることがわかりました。

しかし、免許返納については「返納しない」や「わからない」と回答した方々も多く、免許返納による車の運転ができなくなった後の移動手段について不安を感じていることがうかがえます。

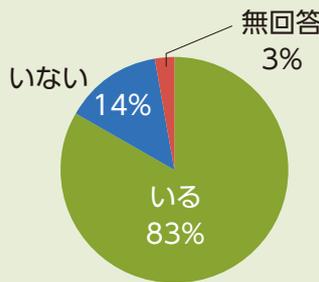
村の公共交通のあり方

今後の公共交通のあり方については、村の費用負担の面からみて、現状の路線バスよりもデマンド交通の

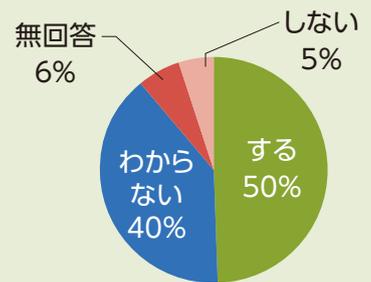
普段、日用品の買い物はどこに行きますか



自動車の運転を頼める同居のご家族はいますか



運転が不安になったら免許証を返納しますか



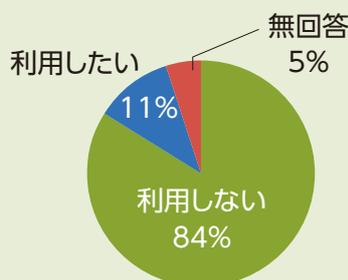
用語解説

デマンド交通とは？

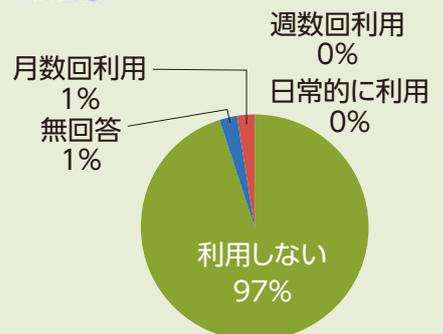
路線バスのように、あらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回るのではなく、利用者の事前予約に応じて、運行ルートや時間を決定して、指定された場所へ送迎する交通サービスです。



デマンド交通を導入したら利用したいですか



普段、バスを利用しますか



村民の皆さんにご協力いただいたアンケートを通じて、現在、村では移動手段が自家用車中心となっている状況であることがわかりました。

しかしながら、数年先、数十年先を見据えて現役世代が安心して

利用しやすい公共交通へ

アンケートでは、全体の7割がこうした機器をすでに持っていることがわかりました。ただし、年代別の内訳では65歳以上の年齢層では、スマートフォン所持率が徐々に低下しています。

デマンド交通など新しい公共交通システムを便利に利用するためには、利用予約をするためのインターネット接続が可能なスマートフォン（スマホ）が必要になります。

スマホを活用して便利に

導入を検討すべきではないか、との回答が大きく上回りました。いずれ車の運転ができなくなった時への不安から、将来は公共交通を利用したいとの回答も多く寄せられており、利用者に寄り添った見直しや工夫が必要とする意見もみられました。

いただいたご意見（一部を抜粋）

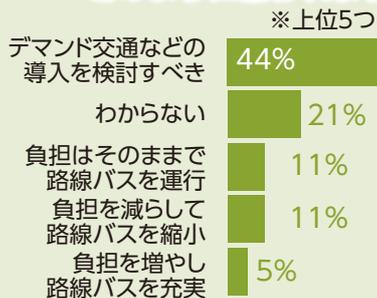
- ・バスの車両を小さく、ルートを細かくしても経費が変わらないのならデマンド交通に切り替えた方がよい。
- ・デマンド交通を導入するなら、岩本駅や利根中央病院発着などもできるとよい。
- ・運転できなくなって、家に閉じこもってしまえば認知症のリスクが高まる。
- ・利便性（料金、目的地、時間など）が合えば、新たな公共交通が利用されると思う。



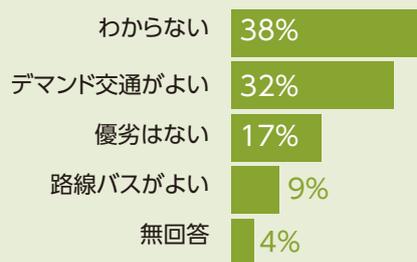
免許返納ができるような、利便性の高い公共交通の実現が求められていることもわかりました。そして、学生や高齢者といった、いわゆる「交通弱者」を対象としたシステムの構築がより一層求められています。

今後は、現行の路線バスを利用されている方々に配慮しながら、デマンド交通などICT技術を活用した新たな公共交通システムの導入について、村民の皆さんにとって便利な交通手段となるよう検討をすすめ、村民の皆さんの暮らしに寄り添った公共交通の実現を目指していきます。

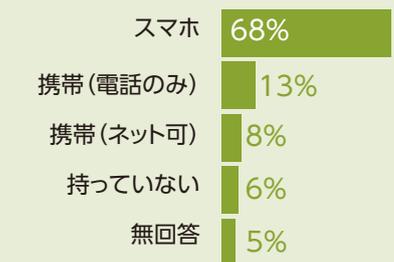
村の公共交通への費用負担についてどのように思われますか



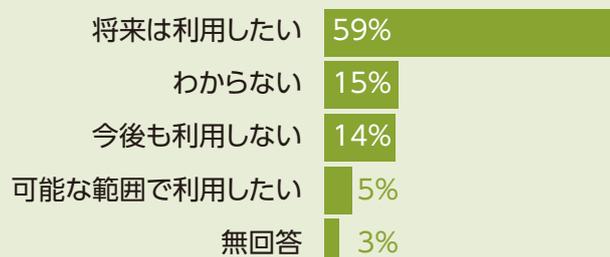
「現在の路線バス」と「デマンド交通」はどちらが便利だと思いますか



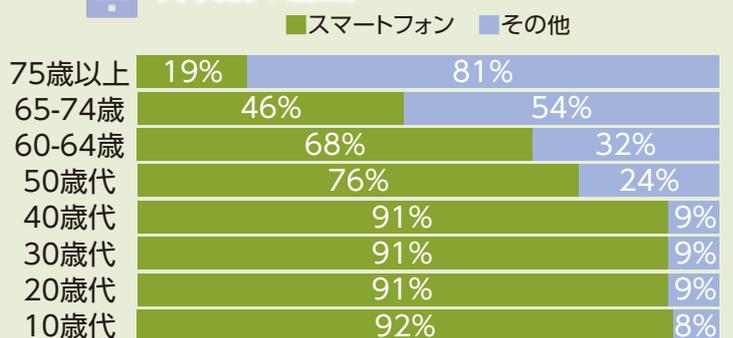
デマンド交通の予約手段として有力なスマートフォンなどをお持ちですか



公共交通を維持するためには多くの方に利用していただく必要があることについてどのように思われますか



スマートフォンなどをお持ちですか（年代別の割合）



昭和村連合青年団(上)
昭和村ボランティアガイドの会

事務局次長 倉澤 新平

村の青年組織は、その昔「壮健」や「若い衆」などと呼ばれていた。会員年齢は十五歳頃から四十歳まで、主な活動は地区内の祝儀、不祝儀、消防や治安の取り締まりなど、幅広く地域に貢献していた。文化活動では素人歌舞伎などを行い村民を楽しませた。明治になると、青年の地位向上と農業発展のための青年組織がつくられた。

その後、それらの団体が統合され「青年会」と名称も変わり、大正三年、利根郡十六町村で組織する「利根郡連合青年会」が発足した。糸之瀬、久呂保の両青年会もこの組織に加入した。当時の会員数は、糸之瀬村一五〇名、久呂保村は一七〇名いたという。主に、村の主産業である農業の発展に寄与する活動を行った。この年、第一回利根郡連合青年会運動会が開かれ、糸之瀬、久呂保両青年会も積極的に参加し交流を深めた。

昭和三年、利根郡連合青年会は「利根郡連合青年団」と改称し、糸之瀬・久呂保両青年会もそれぞれ青年団となった。青年団時

代になると、満州事変や日華事変など国家的重大事件が起こり戦時体制に入った。青年団は、女子青年団とともに出征兵・帰還兵の送迎や、出征軍人遺族への慰問、軍事思想の普及宣伝、そして防空訓練や勤労奉仕などが主な活動となっていた。

昭和十六年になると、青少年を戦争遂行に協力させるため「大日本青少年団」が結成され、各町村の青年団、女子青年団、少年団などで町村青少年団が組織された。特に青年団には軍隊につながる教育訓練がなされ、出征して戦争の犠牲になる仲間もいたが、無謀な戦争は敗戦という結末で昭和二十年に幕を閉じた。将来への希望は失われ、社会秩序も乱れ祖国と郷土は前途多難だった。これを憂う郡内の青年有志が、復興を目指して自主的に結集し、郡下各町村で青年団の組織化運動が進められた。

昭和二十年十二月に女子青年団と合体した新生糸之瀬青年団と久呂保青年団が誕生した。

そして、昭和三十三年十一月一日、糸之瀬村と久呂保村の合併による昭和村誕生とともに、両青年団も統合され「昭和村連合青年団」が誕生した。(つづく)

参考資料Ⅱ糸之瀬村誌・村誌久呂保



地域包括支援センターだより

らくらく筋トレ体操に取り組む サロンを募集しています!



らくらく筋トレ体操中!



らくらく筋トレ体操とは?

→立つ、歩く、物を取るといった日常生活で行う動作に必要な筋力や体の動きを身につけたり、保ったりするために行う体操です。



ハンドメイド活動中!

サロンとは?

→同じ地区に住んでいる人や仲の良い仲間と定期的に集まり、筋トレ体操や趣味、お茶飲みをしながら交流を深める場所です。村では32のサロンが活動しています!



サロンや筋トレ、新たなサロンの立ち上げに興味のある方はぜひお問い合わせください!



▶ 問合せ 村地域包括支援センター ☎24-5111
村社会福祉協議会 ☎20-1126



多面的
機能支払
交付金事業
活動団体紹介

各地区で

自然環境を守る
活動をしています

問合せ 建設課整備係 ☎24151111 (内線163)

農業・農村のもつ多面的機能の維持・発揮を図るため、農地周辺の保全活動や農業用施設の維持管理など、地域資源の適切な保全活動に対して交付金により支援を行っています。村内では、11組織がこの交付金を活用し保全活動に取り組んでいます。
※令和3年度の各団体の活動について、「活」は活動実績を、「増」は増進活動の実績を表しています。



赤城高原緑の会 【活】農道など清掃、植栽整備、ため池周辺の草刈り 【増】水くみ祭りを通じた農村文化の伝承



桐生地区農地・水・環境保全会 【活】農道など清掃、植栽整備、子どもたちと看板作成【増】鳥獣害対策で枝など伐採、電気牧柵の維持



永井緑を守る会 【活】農道など清掃、植栽整備、鳥獣害防止柵の設置、農道の整備・補修 【増】鳥獣害対策で枝など伐採



貝野瀬緑水を守る会 【活】農道など清掃、植栽整備、排水路の更新 【増】鳥獣害対策で枝など伐採



赤城大地の会 【活】農道など清掃、植栽整備、鳥獣害防止柵の設置、排水路の更新 【増】鳥獣害対策で枝など伐採



美しい森下をつくる会 【活】農道など清掃、植栽整備、用排水路の土砂上げ、枝等の伐採 【増】豊年祭りを通じ農村コミュニティ強化



川額水土里の会 【活】農道など清掃、植栽整備、用水路の更新、暗渠排水の整備 【増】鳥獣害対策で枝など伐採



昭和第1地区環境保全推進協議会 【活】農道・用水路などの清掃、植栽整備、鳥獣害防止柵設置 【増】鳥獣害対策で枝など伐採



松ノ木平第2協議会 【活】農道など清掃、植栽整備、鳥獣害防止柵設置 【増】鳥獣害対策で枝など伐採



大河長者の会 【活】農道など清掃、植栽整備、鳥獣害防止柵の維持管理・設置 【増】鳥獣害対策で枝など伐採



グリーンネット生越 【活】農道など清掃、植栽整備、鳥獣害防止柵の設置 【増】鳥獣害対策で枝など伐採、鳥獣害防止柵維持

原油価格高騰対策給付金を支給します

▶問合せ 総務課財政係 ☎24-5111 (内線142)
保健福祉課福祉係 ☎24-5111 (内線131)



昨今の原油価格の高騰に加え、新型コロナウイルス感染拡大による生活への影響が続いていることから、経済的に厳しい世帯を支援するための灯油などの購入費用の負担軽減を図るため給付金を支給します。

◆対象となる世帯

次の①または②のいずれかに該当する世帯。

- ①住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給が決定した世帯(2月号12ページ参照)
- ②令和4年2月1日時点で村民であり、平成16年4月2日以降に生まれた児童を養育している母子・父子のみまたは、そのどちらもない世帯

◆支給額

1世帯につき、現金10,000円
支給は1世帯につき1回となります。

◆申請方法

①の世帯は申請不要です。②の世帯で村から支給通知が届いていない世帯は役場に申請が必要です。

◆支給の方法

- ・臨時特別給付金または児童扶養手当の指定口座へ振り込み
- ・窓口で現金支給
- ・申請書で指定した金融機関の口座へ振り込み

◆申請期限 (②の世帯で、村から通知が届いていない場合)

令和4年5月2日(月)まで

給付金の趣旨をご理解の上、お早めに申請いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

入学や就職で引っ越したら

正確な住所の届出を忘れずに

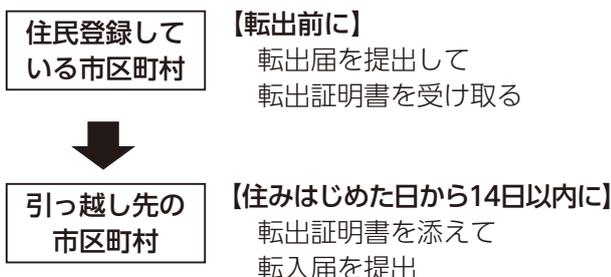
▶問合せ 総務課住民係 ☎24-5111 (内線115)



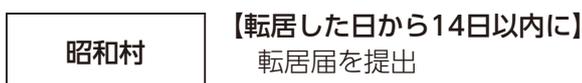
▲身分証明書となるマイナンバーカードの「住所」などは、最新である必要があります。

住民票の住所の異動届(転出届・転入届・転居届など)は、国民健康保険や国民年金などの資格を確認したり、選挙人名簿に登録したりするなど、大切な手続きです。入学や就職などで引っ越しする場合は必ず手続きを行ってください。

◆転出・転入の手続き



◆村内で転居する場合



◆届出に必要なもの

- ・本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証など)
- ・その他(印鑑登録証、国民健康保険証、介護保険証、福祉医療費受給資格者証など)

◎マイナンバーカードをお持ちの方は、転入・転居の届出の際には必ずお持ちください。

◎代理人による届出の場合は、委任状と代理人の本人確認書類が必要になります。

◎正当な理由なく住民票の異動届出をしない場合、5万円以下の過料に処されることがあります。



お知らせ



LINEを使った 悩み相談窓口

生活上のさまざまな悩みを抱えた方に、適切な相談先をご紹介できるように、各種相談窓口をとりまとめ案内するシステムをご利用ください。LINE「群馬デジタル窓口」メニューにある「悩み相談窓口」を選択してください。

群馬デジタル
窓口はこちら



▼問合せ 保健福祉課健康係
☎24-5111 (内線132)

山火事に注意

山火事の約7割は、冬から春にかけて発生しています。

この時期は、落ち葉が積もり、風が強くと、空気が乾燥しています。特に春先になると、行楽や山菜採りなどで多くの入山者があり、こうした人々による「たき火」や「タバコのポイ捨て」などが原因と考えられる火災が多く発生しています。

山火事の原因の大半は人間が原因です。火の取り扱いには十分注意しましょう。

▼問合せ 産業課産業振興係
☎24-5111 (内線153)

自動車の登録手続きは お済みですか

自動車税(種別割)は、毎年4月1日現在、車検証に記載されている所有者が割賦販売の場合は(使用者)の方に課税されます。

次のような場合は、令和4年3月31日(木)までに運輸支局で必ず手続きを行ってください。

▼手続きが必要となる場合

- ・自動車を下取りに出したり、他の人に譲渡したりした場合(移転登録)
- ・自動車を 사용하지なくなった場合(抹消登録)
- ・住所、氏名に変更があった場合(変更登録)

運輸支局での手続きがされない、既に使用していない



子宮頸がん、乳がん検診など

▼問合せ 保健福祉課健康係 ☎24-5111 (内線132)

子宮頸がん、乳がん、骨粗しょう症の集団検診を次のとおり実施します。受診して健康な生活をおくりましょう。

- ①子宮頸がん検診 平成15年4月1日以前生まれの女性
- ②乳がん検診 昭和58年4月1日以前生まれの女性
 - ・対象年齢であれば通知書が届かなくても受診できます。受診を希望する人は、事前にご連絡ください。
 - ・乳がん・子宮頸がん検診は、6月以降個別で医療機関でも受診できます。※受診券がなければ受診できません。
- ③骨粗しょう症検診 個別通知者のみの受診となります。

実施日	受付時間	場所
4月8日(金)		保健センター
4月11日(月)		地域活性化センター
4月14日(木)	午後1:00~2:00	保健センター
4月15日(金)		追分住民センター
4月18日(月)		地域活性化センター
4月22日(金)		保健センター
7月30日(土)	午前8:30~10:30	保健センター
8月1日(月)	午後0:30~2:00	地域活性化センター
12月10日(土)	午前8:30~10:30	地域活性化センター
12月12日(月)	午後0:30~2:00	保健センター

◎お住まいの地区にかかわらず、どの会場でも受診することができます。
◎7月30日以降は、特定健診・肺がん・大腸がん検診も同時に実施し、午前中は胃がん検診もあります。

募集

アップルタウンの 入居者募集

村への定住化と活性化のため、民間住宅(アップルタウン)を借り上げ、お貸ししています。

アップルタウンでは入居者を募集しています。ご希望の方はお申込みください。

▼入居資格 国税と地方税の完納世帯で、村内に住むか勤

務している人(村出身者や村内居住希望者も可)、かつ同居しようとする親族がいる人
▼所在地 糸井748011 (大河原小学校東側)

▼構造 木造平屋建て(3DK)

▼募集数 3戸(A棟・E棟・G棟)

▼駐車場 普通車2台分

▼家賃 39,600円

▼敷金 家賃の2か月分(村に納入)

▼問合せ 企画課広報統計係

☎24-5111 (内線141)



新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントや施設の貸出状況が変更となる場合があります。最新情報は村ホームページをご確認ください。



昭和三村ホームページ

<https://www.vill.showa.gunma.jp>

子育て・健康情報

子育て支援情報(会場はすべて保健センターです)

日	開催時間等	内容
◆乳児健診(令和3年3月・4月・8月・9月・11月・12月生まれの子)		
4月6日(水)	月齢ごとに受付時間を分けて実施します。詳しくは通知をご確認ください	内科診察、身体測定、保健・離乳食等相談
◆プレママ広場(出産予定日が令和4年6月・7月・8月・9月生まれの妊婦)		
4月21日(木)	(受)午前9時～9時30分	身体計測、離乳食相談、母乳相談、保健師・栄養士の相談など
◆ハハの教室(令和元年7月・8月と令和2年1月・2月生まれの子)		
4月21日(木)	(受)午前9時30分～10時	歯科検診、歯みがき指導、フッ素塗布など
◆つぼみの広場(0歳～1歳児)		
4月25日(月)	午後1時～4時	身体計測、離乳食相談、母乳相談、保健師・栄養士の相談、ベビーマッサージ(要予約)など
◆のびのびスクール(予約制)		
4月20日(水)	午前9時～正午	心理士による個別相談

健康・診療情報

名称	健康相談会(予約制)	巡回診療
日	4月28日(木)	4月5日(火)
開催時間	午前9時～11時30分	午後2時50分～
会場	保健センター	大河原集荷所付近
内容・補足	個別健康相談	巡回診療車、保険証と現金(受診料)が必要

そうだん窓口

特設人権相談所	メールで子育て相談
いじめや虐待、配偶者等からの暴力など、日常生活の中で生じる人権問題でお困りの方。ひとりで悩まず気軽に相談ください。秘密は守ります。	村にお住まいの方を対象に、子育てに関するお悩みをメールで受け付けています。回答は、平日午前8時30分から午後5時15分まで。相談メールは次のアドレスまでお送りください。
▶日時 4月7日(木) 午後1時30分～4時	✉ smilemama@vill.gunma-showa.lg.jp
▶会場 公民館研修室	

令和5年歌会始の 詠進歌を募集

お題を詠み込んだ自作の短歌をご応募ください。選ばれた歌は、年頭に皇居で行う歌会始の儀で披露されます。

▼お題「友」

※「友」の文字が詠み込まれていればよく、「友人」「学友」「友好」などの熟語を使用しても差し支えありません。

▼応募 詠進歌はお題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首

とし、未発表のものに限り、毛筆で右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(本名、ふりがな)、生年月日、性別、職業を縦書きしてください。

▼詠進期限 9月30日(金) ※当日消印有効

▼応募・郵送先 〒100-8111 宮内庁(詠進歌と添え書き)

※不明な点は、9月20日(火)までに「郵便番号」「住所」「氏

名」を記入し、切手を貼った返信用封筒を添えて、宮内庁宛てに文書でお問合せください。

▼問合せ 宮内庁ホームページ(<http://www.kunaicho.go.jp/>)

国家公務員募集

人事院は、2022年度に次の国家公務員採用試験を行います。

▼総合職試験(院卒者試験、大卒程度試験)

・受付期間 3月18日(金)～4月4日(月)

・1次試験日 4月24日(日)

▼一般職試験(大卒程度試験)

・受付期間 3月18日(金)～4月4日(月)

・1次試験日 6月12日(日)

▼一般職試験(高卒者試験、社会人試験・係員級)

・受付期間 6月20日(月)～6月29日(水)

・1次試験日 9月4日(日)

▼申込み インターネットにより行ってください。

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

▼問合せ 人事院関東事務局 ☎048-740-2006

利根沼田・職業訓練校 訓練生募集

利根沼田地区高等職業訓練校は、令和4年度の訓練生を募集しています。

▼入校資格 中卒以上で年齢制限なし。中高年齢者や定年退職者も可。

▼学科 木造建築科

▼修了期間 3年(毎週土曜日・月4回の授業)

▼修了後の特典 修了時の技能検査試験に合格すると技能士補となり、二級技能検定の学科試験免除

▼諸費用 ①入校金13,000円(一時金)、②訓練費36,000円(年間)、③事業主会費12,000円(年間)、④教科書代10,000円(3年間)、⑤実習教材費10,000円(年間)、⑥給食費24,000円(年間)

▼申込期限 3月25日(金)

▼申込み・問合せ 利根沼田地区高等職業訓練校(沼田市栄町123-1) ☎0278-12214904

※毎週火・木曜日午前8時～正午、土曜日午前8時～午後4時



学校の将来を考える

昨今の少子高齢化の流れは村内の学校にも影響を与えており、小中学校では年々児童生徒が減少しています。ここでは、関係者が検討を重ねてきた「将来の学校のあり方」についてお知らせします。

▶問合せ 教育委員会事務局 ☎24-5120

写真は右から、大河原小学校、東小学校、南小学校、昭和中学校

学校にも少子化の影響

現在、昭和村の小学校は東小学校、南小学校、大河原小学校の3校があり、子どもたちが日々学んでいます。また、昭和中学校は、平成2年に当時の東中学校と南中学校が統合されて開校しており、各校とも長年地域とともに歩んできました。

そんな中、現在の日本は少子高齢化社会を迎え、村でも児童生徒数が年々減少しています。平成3年から令和3年までの30年間でみると半減しており、クラス数では各学年とも1クラスになっています。大河原小学校では2つ以上の学年からなる複式学級もあります。このため、教育活動や学校運営に支障をきたす状況になりつつあり、今後の学校の規模の適正化を考えることが課題となってきました。

校舎の改修にも課題

また、学校施設については、校舎や体育館をはじめ敷地内にさまざまな設備があります。中でも、校舎は鉄筋コンクリート造りのため、耐用年数はおおむね60年程度とされていますが、その間、経年劣化により補修や改修する必要があります。大河原小学校では昭和55年の建築後、

統計データ Statistics

これからの学校は？

児童生徒数の推移

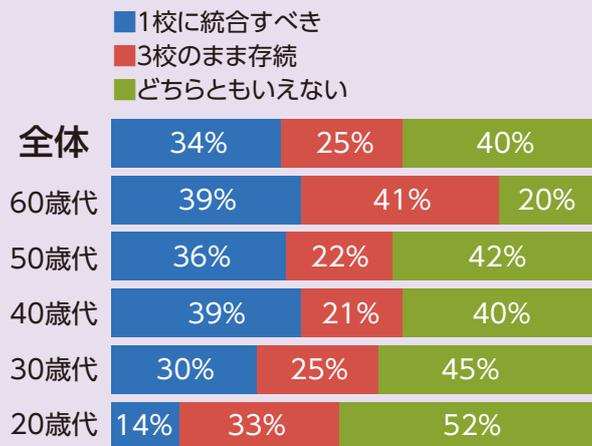
村内の児童生徒数は、30年前の平成3年度は4校合計で1,111人でした。現在は514人となっており、半減(54%)しています。さらに令和9年には61人の減少が見込まれます。



子育て世代アンケート結果 Parents' survey

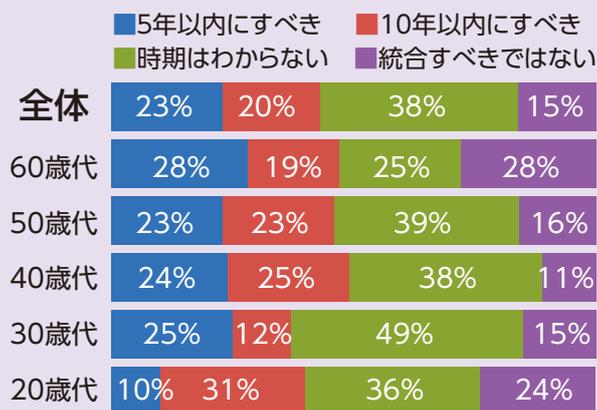
学校は現状維持？ 統合？

小学校を統合すべきだと思いますか？



※無回答があったため、100%にならない場合があります。

統合するならいつ頃がいいと思いますか？



※無回答があったため、100%にならない場合があります。

個別のご意見 (件数が多いもの)

- ・統合して人数が多い方が、競争心や協調性が高まる。
- ・児童数の減少のため、統合せずに少人数は心配。
- ・統合は通学方法に不安や問題がある。
- ・現状の方がきめ細かなフォローができる。

検討委員会での協議

平成27年に大規模改修を行っていますが、南小学校が平成6年、東小学校が平成8年に建てられて築30年を控えています。また、長寿命化するには築20年の簡易改修や、築40年の大規模改修に備える必要があります。平成2年に建てられた昭和中学校も同様の課題があります。

こうした状況を踏まえ、村は「学校の在り方調査・研究委員会」を平成30年に立ち上げ、令和元年8月には、議会議員や教育委員、各学校関係者やPTA役員などからなる「学

アンケート結果と展望

子育て世帯向けのアンケート調査

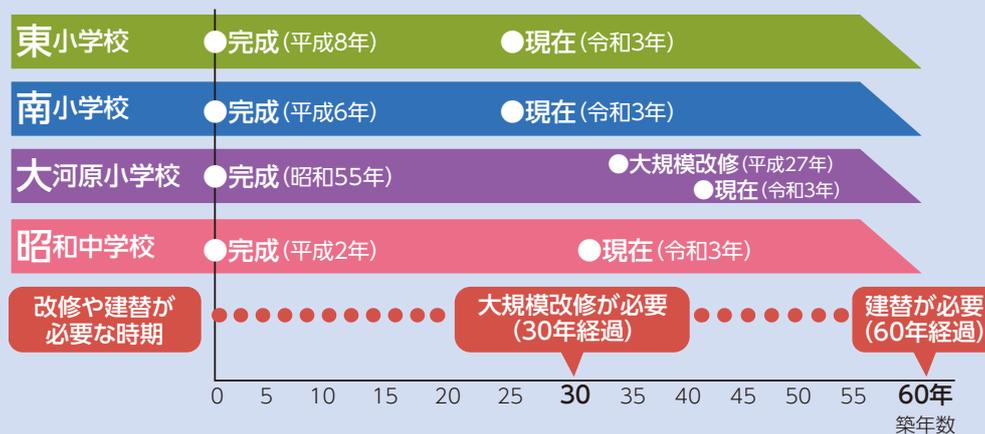
学校の在り方検討委員会」を組織。今後の学校の方向性について幅広く意見を交わす中で、学校体制を現状のまま維持していくか、統合すべきかといった声が聞かれました。ところが、令和2年1月頃から発生し拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会活動が大幅に制約されることになったこともあり、子育て世帯に向けて「現状維持」か「統合」かを問うアンケート調査を実施しました。

とそれを踏まえて開催した検討委員会の協議の結果、子どもたちが楽しく学び、集団生活の中から豊かな人間関係を築いていくとともに、保護者の学校運営への参加負担を軽減するためにも小学校は統合すべきであるとの結論に至りました。

また、統合の時期については、統合校の場所や新設・既存の校舎の改修、通学の手段、そして費用など、さらに議論が必要な問題があることから限定しないものの、子どもたちの人数が今後さらに減少していくことから、なるべく早期に計画を立てて実現していくことが望まれます。

学校施設の維持

学校施設の要となる校舎は、鉄筋コンクリート造りで耐用年数があるため、完成から30年で大規模改修が、また、60年後には建替が必要となります。東小学校、南小学校、昭和中学校は大規模改修が必要となってきます。



2月11日～13日 ウィンターフェスティバル2022 3夜連続で雪原に希望の花火

ウィンターフェスティバル2022が開催され、3夜連続で村内の夜空に花火が上がりました。

昭和村に花火を上げる会(藤井朋和会長)による恒例のイベントは、今年もコロナ禍の影響により集客での昼間のイベントが行えないため、夜7時から約10分間の花火を3日間に分け、各日とも村内3カ所で打ち上げられました。花火を見た金子幸雄さん(常木)は「母校の東小学校で迫力の花火が上がったのは感慨深く、息子とともに楽しみました」と話していました。



南小(右)と昭和中、東小(左奥)で上がった12日の花火

JFAトレセン群馬U-12メンバー決定 加藤敬二君がサッカー県選抜選手に

村を拠点に活動するサッカークラブ「FC昭和」(和南城寿監督)所属の加藤敬二君(東小学校6年)が、サッカー12歳以下の群馬県選抜選手に相当するJFAトレセン群馬U-12メンバーに選出されました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、予定されていた関東大会の試合は中止となりましたが、加藤君は「選ばれたことはうれしい。次のチャンスに向けて、さらに頑張っていきたい」と気を引き締めていました。



県選抜選手の加藤敬二君

2月16日 群馬県優良交通指導員表彰 治田さん・綿貫さんに感謝状

村交通指導員・隊長の治田貴典さん(大河原)と隊員の綿貫里織さん(鎌沢)に、群馬県優良交通指導員表彰の部の感謝状が贈られました。治田さんと綿貫さんは、交通指導員として6年間にわたり活動され、地域の交通安全活動や、各学校・保育園の交通安全教室などを通じ村の交通安全に尽力されました。治田さんは「多くの方々と知り合うことができ、あっという間の6年間でした」、綿貫さんは「子どもたちに係わることもでき、充実した時間でした」と話していました。



感謝状を贈られた治田さん(左)と綿貫さん

2月15日 吹張区民館が完成 吹張区民の新たなコミュニティ拠点に

吹張区(和南城順一区長)の新たな地域コミュニティ活動の拠点となる、吹張区民館が完成しました。この建物は、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金で整備したものです。区民館はバリアフリーに配慮し、子どもから高齢者まで幅広く利用できる施設となりました。

和南城区長は「長年の懸案だった区民館が完成し、大変うれしい。安全・安心な地域コミュニティの拠点として、より活発に活用したい」と話していました。

◆コミュニティ助成事業とは…(一財)自治総合センターが、全国自治宝くじの受託収入を財源に行っている助成事業。地域コミュニティ活動の充実と住民福祉の向上に寄与しています。



完成した吹張区民館と建設委員の皆さん

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

■ 1月20日 ひまわり大学 素敵なタイルクラフトを制作

タイルクラフト作家の小倉香さんを講師に招いた、ひまわり大学「簡単に楽しいタイルクラフト教室」が開かれました。参加者は、自分の好きなタイルを組み合わせ、かわいい鍋敷きを作り上げていました。



小倉さん(左)がていねいに手ほどき

■ 2月10日 第二保育園 ぐんまちゃんが来園

第二保育園に群馬県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」が来園し、園児と交流しました。

園児たちは、ぐんまちゃんと楽しく歌ったり踊ったりしたほか、クイズなどをして楽しみました。



ぐんまちゃんと交流する園児たち

■ 3月3日第一保育園 ひなまつりをお祝い

第一保育園で園児たちがひなまつりを祝いました。

園のホールに飾られた大きなひな飾りの前では、クラスごとに分かれて園児たちが集まり、記念写真を撮りながら、桃の節句を楽しみました。



大きなひな飾りを楽しむ園児たち

■ 1月16日 道の駅「あぐりーむ昭和」 願い込め「どんどん焼き」

道の駅「あぐりーむ昭和」で恒例の「どんどん焼き」が行われました。

訪れた人たちは、古いだるまやお札などで組まれた大きなやぐらの火柱に向かって、家内安全や新型コロナウイルスの終息を願っていました。



コロナ禍の終息を願った「どんどん焼き」

■ 2月3日 子育て保育園 元気いっぱい「鬼は外！」

村内各保育園で、節分の豆まきが行われました。

子育て保育園では、園児たちの前に迫力のある赤鬼が登場。園児たちは元気に豆を投げ、鬼を退散させていました。



鬼に豆をまく園児たち

■ 2月24日 昭和中学校3年 「風水害24」で自主避難学ぶ

大規模風水害からの避難をゲームで学ぶ「風水害24」が昭和中学校で行われ、3年生が体験しました。

生徒たちは、日頃からの防災マップの確認と、災害時に自分の命を最優先で守る大切さを学んでいました。



刻々と変化する状況に対応する生徒たち

■ 1月12日沼田警察署長から感謝状 道の駅が警察活動に貢献

道の駅「あぐりーむ昭和」(倉澤新平駅長)に沼田警察署長から感謝状が贈られました。同道の駅では、沼田警察署が開催する行事に積極的に協力するなど、地域の交通安全活動への貢献から贈られたものです。



感謝状を手にする倉澤駅長

■ 2月3日 遍照寺で節分会 鬼踊りで悪疫退散を願う

遍照寺(榎本最紳住職)で昭和元三大師節分会が開かれました。今年で11回目となる節分会では、関東唯一の鬼法楽(鬼踊り)が行われ、人間の3つの煩惱を表した赤、青、白の鬼がゆっくりと境内を練り歩きました。



境内を練り歩く鬼たち

■ 2月24日 南小学校6年 横浜・勝田小と再び交流

南小学校と横浜市・勝田小学校の6年生がリモート接続し交流する授業が行われました。今回は、勝田小学校の子どもたちが市内のお店や施設などを紹介。子どもたちは丁寧な説明を熱心に聞き入っていました。



発表に対し拍手で答える子どもたち

広報文芸

◎黒土短歌会では会員を募集しています。詳しくは企画課まで。

幼日にメリヤス肌着を枕辺に匂ひ新し明日は正月
 中一の男の孫と昼餉する米が旨いと三杯目出す
 ホームステイ何をしようぞ家のことあれもこれもと一日を終る
 二十年励みし息子の両の手は鉄と櫛を自在に操る
 雪解けて路面の凍つる裏通り杖に守られ日課の散歩
 また一枚重ね着しても寒き朝野良猫が幾たび玄関覗く
 立春とうらはらにして村里は小雪に凍みの極まる朝夕

林 千恵美
 倉澤美代子
 藤井 君枝
 和田ひとみ
 倉沢さなへ
 堤 あさ江
 板橋きみ江

地元での思い出

私は今、大学院で解析学を専攻し、日々数学の美しさや難解さに魅せられ苦戦しながら学びを続けています。

今回原稿を書く機会をいただき、尊敬する先輩や地元で活躍している同級生の文章を見て、なにを書こうか悩みました。ふと、一昨年秋の昭和中学校での教育実習について思い出したので、それについて書けたらなと

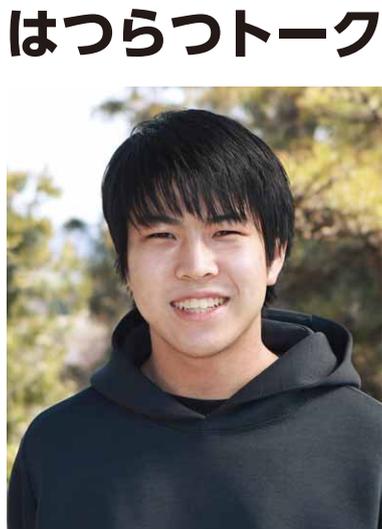
思います。

私が教育実習で担当した学年は、当時中学2年生、今は受験なども終わり人生の次のステップへ準備を進めている時期かと思えます。みんな元気かな、みんなが望んでいたマスクのない生活にはもう少し時間がかかりそうだけど、マスク越しのみんなの笑顔はきつとこれからも周りの人を幸せにすると信じています。

私が中学時代を過ごした学び舎は、相変わらず活気に溢れ、生徒の皆さんの

優しさは秋の寒さを忘れさせるほどあたたかかったです。地元であたたかさに触れられた3週間、とても貴重な時間でした。その思い出を胸に、これからも頑張っていこうと思います。

 次回の登壇者は、島田佳歩さん(22歳・三ツ谷)です。



金子 歩夢さん
 (23歳・藤井)

広報しょうわクイズ

本号では、今後の公共交通についてお知らせしました。それでは問題です。村が今後検討していく新たな公共交通を「デマンド●●」と呼ぶでしょうか。

応募方法

- ▶ 賞品：正解者の中から抽選で昭和村商工会商品券500円分を差し上げます。
 - ▶ 締切：4月1日(金)
 - ▶ 応募方法：問題の答えと、住所・氏名・広報しょうわへのご意見を書き、ハガキかメールでご応募ください。
- <ハガキでの応募>
 〒379-1298
 企画課「広報3月号」係
- <メールでの応募>
 kikaku@vill.gunma-showa.lg.jp
 件名：「広報3月号」係

▶ 2月号のクイズの答えは「第64回」でした。当選者は次のとおりです。おめでとうございます。

- ★高橋すみ子さん(入原)
- ★曾我 照美さん(大河原)

地域おこし協力隊です



高橋 梨果子さん

こんにやく工場を見学

地域おこし協力隊の高橋梨果子さんが、株式会社北毛久呂保(会長 藤武志代表取締役)を訪ねました。北毛久呂保は、おいしくてヘルシーなこんにやく加工食品を製造販売しています。

さっそく、工場で製造工程を見学。兵藤さんからは、試行錯誤の末に誕生した商品の裏話などをお

聞きしました。高橋さんは「道の駅で加工製品を販売していますが、今回工場を見学させていただきました。こんにやくがさらに身近に感じました」と話していました。



7kgの巨大なこんにやくは圧巻!

明日の安心

国民年金

年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入や所得額が一定基準以下の、年金受給者の生活を支援するため、年金に上乗せして支給されるものです。受け取りには請求書の提出が必要です。ご案内の送付や事務手続きは、日本年金機構(年金事務所)が実施します。

◆対象となる方

◇老齢基礎年金を受給している方(以下の要件をすべて満たしていること)・・・①65歳以上である ②世帯員全員の市町村民税が非課税となっている ③年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下である
◇障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方：前年の所得額が47.2万円(扶

養親族などの数に応じて増額)以下である

◆請求手続き

①新たに年金生活者支援給付金をお受け取りいただける方：お受け取りの対象となる方には、日本年金機構から、令和3年8月下旬頃から請求可能であることをお知らせする通知が送付されています。同封のはがき(年金生活者支援給付金請求書)に記入し、切手を貼ってポストに投函してください。原則として、請求のお手続きいただいた翌月分から支給の対象となりますので、お早めにお願います。

②年金を受給し始める方：年金の請求手続きと合わせて、渋川年金事務所または役場総務課住民係で請求手続きをしてください。

※すでに年金生活者支援給付金を受給している方は、新たな手続きは不要です。

◆年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったら、『ねんきんダイヤル』☎01057-0105-11165にお問合せください。

2月届出分 戸籍の窓口

□お誕生おめでとうございます。

- ・くわばら ともあき 柴原 智晃くん(赤城原第2)
孝明・喜子さんの子 1月29日生

■ごめい福をお祈りいたします。

- ・林 栄久さん(宿)
96歳 2月1日没
- ・諸田 一雄さん(入原上)
92歳 2月9日没
- ・藤井 侑さん(永井下)
94歳 2月12日没
- ・関上 敬二さん(宮貝戸)
90歳 2月16日没
- ・星野 光男さん(鎌沢)
87歳 2月21日没
- ・須藤 うめ子さん(赤谷)
93歳 2月23日没
- ・星野 正明さん(追分)
72歳 2月27日没

※掲載を希望されない方は、届出の際に申し出てください。

こころの健康相談(予約制)

こころの悩みを抱える方のための相談窓口

場所 利根沼田保健福祉事務所
☎23-2185
(毎月水曜日)

詳細はお問合せください

わが村のうごき

令和4年2月末現在 (外国人内数) (前月比)

- 人口 総数 6,995人 [383人] (-10)
男 3,527人 [184人] (-2)
女 3,468人 [199人] (-8)
- 世帯 総数 2,706世帯 (-2)
・外国人のみ 338世帯
・混合 32世帯
- 村の面積 64.14 平方キロメートル

昭和駐在所からのお知らせ

高齢者の運転免許証更新時の手続き

70歳以上の方が運転免許を更新する場合、更新手続きの前に、認知機能検査や高齢者講習を受ける必要があります。公安委員会から、高齢者講習や認知機能検査の実施日時や場所が予約された状態で「高齢者講習通知書」と「認知機能検査通知書」が届きますので、自分で予約する必要はありません。なお、これらの講習や検査の手数料や講習時間は5月13日の道路交通法改正で変更がある予定です。

道路交通法改正後は、75歳以上で一定の違反歴がある人は、運転技能検査も受ける必要があります。運転技能検査は繰り返し受検することができますが、合格基準に達しない場合は運転免許の更新ができません。

詳細は、同法改正後に群馬県警察ホームページをご覧ください。

▶問合せ 群馬県警察本部運転管理課
☎027-253-7573(直通)



上州くん・みやまちゃん

本とハッピー

今月のおすすめ本

図書館支援員さんおすすめの本をご紹介します。新しい本が入った公民館図書室を、ぜひご利用ください。

公民館図書室のご案内

平日 午前8時30分～午後6時

▶問合せ 教育委員会事務局 ☎24-5120

カラーモンスター がっこうへいく

アナ・レナス/著



カラーモンスターはちょっと不安。なぜって、今日は初めてがっこうへ行く日だから。でも、心配しないで。がっこうって楽しいことがいっぱいだよ。保育園や小学校に通い始める子におすすめ。

スモールワールズ

一穂ミチ/著



夫婦円満を装う夫婦と、家庭に恵まれない少年。秘密を抱えて出戻った姉とふたたび暮らす弟。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描きつくす連作集。

時のあわいに きものの情景

清野恵里子/著



自然な光の中にたたずむ女優たちの着こなし。柔らかな語り口でつづられるきものの情景。月刊誌「ミセス」連載12年の集大成が待望の書籍化。文筆家と写真家のふたりが創り上げた世界がここに。

編集後記

少子化や学校施設の維持といった課題がある中、地域の「顔」でもある学校のこれからについてお知らせしました。記事を編集しながら、私が中学3年生になったときに誕生した昭和中学校のことを思い出しました。新築の匂いのする真新しい校舎に、人数が倍に増えた同級生。合唱祭では迫力の歌声が響きわたったことが印象に残っています。これからの学校が、子どもたちにとって楽しく充実した場になるよう願っています。(石井)

実際の紙面のみの掲載となります。